

県政と皆様を結ぶ情報誌



県政報告

vol.11

2021.10月発行

愛知県議会議員

神谷まさひろ

「日記形式での県政報告Vol.11」をお届けします。先日、わらび座のミュージカル『北斎マンガ』を鑑賞し、スタッフとして少しだけお手伝いをしました。今回の実行委員長で元安城学園高校長の坂田先生が「子ども達が良質な文化・芸術に触れる機会を作ること」を目的に、わらび座のミュージカルを安城に招致するようになって21年目となりました。内容の素晴らしさはもちろんですが、このミュージカルを招致し続けることの『思い』が素晴らしいと思っています。「コロナ禍でも文化や芸術はなくてはならない」「(自分が苦しい時には)応援され、(相手が苦しい時には)応援するような関係が素晴らしい」「文化・芸術は人が楽しく明日に向かって希望を持って生きて行くために必要なもの」

マスクの着用・入り口での手指消毒・間隔を空けての座席・一方通行の動線など、コロナ対策を万全にしての開催でしたが、最後に出演者が挨拶の中で「来年はマスクなしでお会いしましょう」と言われました。心からそう願っています！

今回の県政報告は9月定例会の内容が中心です。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



9.14 火 活発な議論のコロナ対策特別委員会

私

が所属します新型コロナウイルス感染症対策特別委員会が開催されました。

愛知県議会では議会開会中でなくとも、閉会中調査としてこのように委員会が開催されることが普通にあります。今日の出席者は議員18名、当局49名という大きな規模での開催です。これだけ当局から大勢の出席があると、各事業について専門的に知っている職員ばかりですから、ガチンコ(事前のヒアリングなしで質問に臨むこと)でも十分議論することが出来て非常に聞き応えがあります。

私は①(8月31日の臨時議会において予算化された)高校生へのワクチン接種促進事業について

②宿泊療養施設における医師・看護師の充足について ③妊婦とその夫へのワクチン予約なし優先接種についての3項目について質問をしました。特に①については、偏見や差別・同調圧力が生じないように慎重にすべきといった発言をしました。



9.17 金

令和3年9月定例愛知県議会が開会

今

日から10月12日(火)まで26日間の会期で
令和3年9月定例愛知県議会が開会しました。

上程された補正予算のうち、次の6件については「早急に協力金を増額するとともに、応援金の速やかな支給や医療提供体制の更なる強化を図る必要があること、さらに、新学期を迎え県立学校における感染症対策を早急に行う必要があること」から、直ちに委員会に付託をされた後、早期の議決が図られました。

- ①時短要請に応じて頂ける飲食店等へ協力金を交付
- ②売り上げが減少した事業者に対する応援金(一般枠)を交付
- ③入院待機者の一時的な受入れのため、酸素投与等を実施
- ④愛知入院待機ステーションを設置
- ⑤蒲郡ホテルを新たに宿泊療養施設として開設
- ⑥県立学校における感染症対策や学習保障の充実

その他の補正予算や議案については、10月1日(金)からの委員会において審査されることになっています。

この中で、

②の【売り上げが減少した事業者に対する応援金(一般枠)を交付】について、「飲食店に納入している業者のみが対象だろう」といった誤解があるようですから、少し詳しく紹介したいと思います。

国は緊急事態措置等による休業要請・時間短縮要請や不要不急の外出・移動自粛により、売上が50%以上減少した中小法人・個人事業主等に対して「月次支援金」を交付することになっています(法人:上限20万

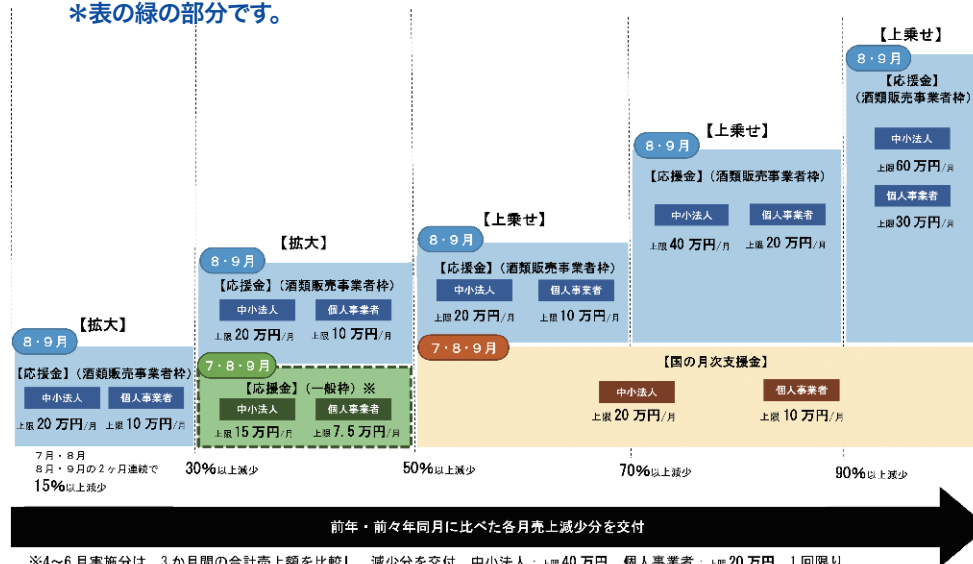
円/月、個人:上限10万円/月)

愛知県はこの制度の対象とならない「売上が30%~50%減少(前年または前々年度の売上比)した事業者に対して「中小企業等応援金」を交付します。

対象は、要請を受けて休業か時短営業した飲食店と直接・間接の取引がある事業者。農・漁業者や食品卸売業者、割りばし・おしぼり業者などです。**またそれ以外に、不要不急の外出・移動自粛により直接的な影響のあった業者も対象です。←この点が重要です。**例えば旅館、土産物店、観光施設、タクシー・運転代行業・理美容店など、多岐にわたると思います。

4月~6月の売上減少分についても実施されたのですが、その際は中小企業は上限40万円、個人事業者に上限20万円を、国の制度と違い1回だけの支給でした。今回は7・8・9月それぞれの月ごとに中小企業は上限15万円、個人事業者に上限7.5万円が支給されます。

愛知県中小企業者等応援金(一般枠・酒類販売事業者枠)の全体像
*表の緑の部分です。



9.24 金

公立高校の欠員増加→高校再編に

令

和3年9月定例愛知県議会、本日は代表質問です。3つの会派の幹事長がそれぞれの会派を代表して登壇しました。

代表質問は質問50分+答弁30分。答弁は大村知

事は登壇して、教育長と警察本部長は自席から行います。大村知事は原稿を読むだけではなく、最新の情報などを交えて自らの言葉で考えを述べられますので、本当に素晴らしいことだと感心しています。

質問の中で「県立高校の再編について」のやりとりがありました。答弁のポイントは3つです。

(質問)

中学校卒業生数の減少や広域通信制高校への進学者増加、私立高校の授業料実質無償化の拡大などにより、県立高校の欠員が増加しており、今春の入学選抜では、県立高校の半数以上で定員割れが生じる事態になっています。こうした状況を踏まえて、県立高校の再編をどのような方針で進めるのか？

(教育長答弁)

①県立高校の再編を進めるに当たっては、学校の統廃合だけでなく、新しい時代にふさわしい学科改編や入試制度改革などに積極的に取り組み、中学生が学びたいと思える学校づくりと、生徒を主体として、生徒の可能性や能力を最大限に伸ばす教育へと転換していくことが重要。



②昼間定時制や通信制サテライト教室の設置、産業構造の変化に対応した専門学科のリニューアルやICTを活用した遠隔授業の取り組みなど、多様な学びのニーズに応える。大学や企業、NPOなどの外部専門機関と連携した取り組みも検討。

③今後、中学校卒業生数は大幅に減少する。現在の高校進学率や公私割合を前提にすると2035年までに公立高校募集学級数を200学級程度減らす必要がある。具体的にどのように減らしていくかについては、地域ごとの状況を踏まえて検討する。

9.29 水 ▶ コロナ対応のため保健所の体制強化

一般質問3日目。今日は自民党3名、新政あいち2名、公明党1名、無所属1名の計7名が登壇しました。

今回のコロナ感染第5波では、入院調整や積極的疫学調査などの業務が急増したため、保健所における体制を拡充しました。今日の一般質問ではその内容についての質問がありましたので答弁の中から概要を紹介します…

◎**従前から、外部委託の看護師を30人以上保健所へ派遣していた。それに加えて、愛知県看護協会から看護師を派遣頂いた**

◎**本庁・児童相談センターなどの保健師・薬剤師・獣医師・看護師や県OB保健師などを1日あたり最大で2人派遣**

◎市町村にもご協力いただき1日あたり最大で11人の保健師の応援を頂いている

◎専門職の派遣に加え、健康観察等の療養支援を行うため、県庁全体から事務職員も104人派遣

◎これらを合わせて全体で160人以上の応援職員により保健所業務の支援を行っている

また、過日行われた委員会では、「過労死ライン」とされる月80時間以上の時間外労働をした県管轄の保健所職員が8月に82人いたことも公表されました。今後も特定の部署にだけ負担が集中しないようにオール愛知での対応を願っています。



9.30 木 ▶ 本会議と委員会 「休会」の予定が急きょ開催に

9 月定例会も「本日は休会」の予定だったのですが、明日からの愛知県厳重警戒措置に伴う補正予算を早期議決しなければならない関係で、急きょ本会議と委員会が開催されることになりました。補正予算の内容としては…

◎営業時間短縮要請に応じて頂ける飲食店等に対する

愛知県感染防止対策協力金の交付(287億2,411万余円)

◎新型コロナウイルスの影響による休業等により、収入が減少した世帯に対する生活福祉資金貸付制度の特例措置の申請期間が11月末まで延長されたことに伴う、貸付原資の増額(39億4,900万余円)

の合計326億2,460万余円です。

10.1 金

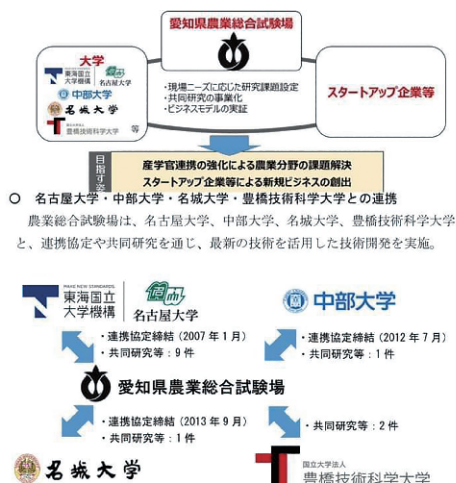
農林水産委員会で質問するも、経験と知識不足を露呈(汗)

私

の所属します農林水産委員会が開催されました。今回の補正予算では「あいち農業イノベーションプロジェクト推進調査費」なるものが計上されています。

◎愛知県農業総合試験場と大学・企業等の連携による農業イノベーション創出に向けた調査(新規) 約2370万円

愛知県農業総合試験場と県内大学、新しいアイデアや先端技術を持つスタートアップ企業等との産学官連携強化によって、新品種・新技術の開発を進めると共に、カーボンニュートラルやコロナ禍に対応するサプライチェーンなど、



農業分野の新たな課題に対応するための農業イノベーション創出を目的としたプロジェクトが立ち上がります。

今年度(2021年11月～2022年3月末まで)はプロジェクトを進めるために次のような調査事業を行います。

①共同研究テーマの設定 ②スタートアップ企業等のシーズ調査 ③共同研究を効果的に進めるための機能調査 ④研究会を設置し、事業全体の推進体制の検討などです。

私もその予算について、現在愛知県農業総合試験場において行われている「スマート育種を活用した品種開発」に絡めて質問をしました。しかし・・・

他の議員の質問を聞いていると、自らの農業の経験や、農業に対する豊富な知識を基にした質問が多くあり、私のように「付け焼刃の知識で質問してはとても駄目だ!」と大いに反省させられました。

また今日の質問の中には、愛知県が新たに開発し9月18日に販売が開始された、愛知県初のブランド米「愛ひとつづ」に関するものもありました。「粘りがあり甘い愛ひとつづは、白いご飯で召し上がるのがオススメです」とのことです。ぜひ味わってみて下さい。



10.12 火

9月議会最終日 議員提出の政策条例可決

9

月定例会も今日が最終日。国と共に「ワクチン・検査パッケージ」に関する技術実証を行うための補正予算と、酒類販売事業者に対する応援金の10月実施分の経費を計上するとともに、応援金の9月までの実施分を、実績を踏まえて減額補正する議案が追加提案されました。これにより新型コロナウイルス感染症対策予算の累計額は昨年の2月補正予算以降1兆1,370億円となります。

また、議員提出議案として「愛知県木材利用促進条例」が提出されました。この条例では県産木材をはじめとする木材の利用が県内全域に広がることを目指して、利用促進に関する基本計画を定め、促進に関する施策を推進するために

必要な財政上の措置を講ずるよう努めるとされています。

ところで・・・愛知県議会における長い歴史の中で、議員提案による政策条例が制定されたのは、今回を含めて僅か7件しかないことが判りました。少ないことに驚きです(@_@)

今日はこうした議案を含めて全部で47件を可決し、9月定例愛知県議会は閉会となりました。

新型コロナウイルス感染症対策予算の累計額

(2019年度)	
2月補正予算	20 億円 ①
(2020年度)	
4月～2月補正予算	4,519 億円 ②
(2021年度)	
既決予算	6,746 億円
9月補正	84 億円
(うち追加)	△17 億円
合計	6,830 億円 ③
累計(①+②+③)	1兆1,370 億円

